

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ココニー児童デイサービスはんたがわ（発達支援）		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 20日		～ R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日		～ R7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムにおいては、特に外出活動に力を入れて積極的にを行っています。	普段行けない場所へ外向き、社会性や公共のルールを守る学習を取り入れ、自立に向けて支援しています。	親子参加型や地域の他のこども達との交流の場を設け、利用児に寄り添う支援を心掛けていきます。
2	個別支援または専門的支援のあり方や支援方法について、法人内の事業所間や専門職間で、支援方法の検討や相談等のサポートを行う組織文化があります。	個人情報に配慮しながら、より良いサービス・支援を行っていく上で、日々切磋琢磨しています。また、エリア別に合同の行事や活動を計画して、事業所外の交流を図っています。	今後は近隣のデイサービスとも連携を取り、情報共有に努めます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族・兄弟が交流できる機会が設定できていなかった。	コロナ過明けで体制が整っていないことや立地条件（駐車場の確保）で保護者を事業所に招くのが容易ではなかった。	必ずしも当事業所で開催でなく、施設を借りて出来るだけ交流の場を設けるようにします。
2	支援終了時に、職員間での支援の振り返りが行われていない時がある。	業務で必須と思われる事に関しては話し合いができていますが、振り返りが行われていない時があるため、職員間での情報共有のあり方に課題がある。業務多忙を理由に余裕がなかった。	業務改善して振り返りできる時間を設けます。また、話し合う体制を整える為、職員全員が気付き声掛けを行います。
3			